

第45回 鹿児島県 消防救助技術指導会



【薩摩川内市消防局 下村選手】

日 時 令和5年5月26日（金） 9時30分 開会

場 所 鹿児島県日置市東市来町長里1020 - 1

鹿児島県消防学校

主 催 鹿児島県消防長会

後 援 鹿 児 島 県

次 第

選手・審判団集合 9時20分

開会式 9時30分

- 1 開会のことば 鹿児島県消防長会事務局長
- 2 黙とう
- 3 国旗掲揚
- 4 会長あいさつ 指導会会長(鹿児島県消防長会会長)
- 5 来賓祝辞 鹿児島県知事
- 6 審判長指示 審判長(鹿児島県消防長会副会長)
- 7 選手宣誓 下村 圭祐 選手(薩摩川内市消防局)
- 8 選手・審判団退場

訓練開始 10時00分

選手・審判団集合 15時30分

閉会式 15時40分

- 1 表彰 指導会会長(鹿児島県消防長会会長)
- 2 講評 審判長(鹿児島県消防長会副会長)
- 3 国旗降納
- 4 閉会のことば 鹿児島県消防長会事務局長
- 5 解散 16時00分

来 賓

来 賓 鹿 児 島 県 知 事 塩 田 康 一 様
来 賓 一 般 財 団 法 人 鹿 児 島 県 消 防 協 会 会 長 内 大 久 保 清 志 様

役 員

指 導 会 会 長 鹿 児 島 県 消 防 長 会 会 長 松 下 剛
(鹿 児 島 市 消 防 局 長)
審 判 長 鹿 児 島 県 消 防 長 会 副 会 長 細 山 田 孝 美
(霧 島 市 消 防 局 長)
運 営 委 員 大 隅 肝 属 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 内 山 智 文
運 営 委 員 薩 摩 川 内 市 消 防 局 長 石 原 浩 之
運 営 委 員 い ち き 串 木 野 市 消 防 本 部 消 防 長 下 池 裕 美
運 営 委 員 伊 佐 湧 水 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 仁 王 伸 清
運 営 委 員 出 水 市 消 防 本 部 消 防 長 大 平 伸 章
運 営 委 員 大 島 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 荒 田 省 三
運 営 委 員 指 宿 南 九 州 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 東 秋 孝
運 営 委 員 阿 久 根 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 児 玉 秀 則
運 営 委 員 熊 毛 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 遠 藤 豊
運 営 委 員 垂 水 市 消 防 本 部 消 防 長 田 中 昭 弘
運 営 委 員 始 良 市 消 防 本 部 消 防 長 原 口 浩 幸
運 営 委 員 大 隅 曾 於 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 吉 松 博 幸
運 営 委 員 さ つ ま 町 消 防 本 部 消 防 長 萩 木 場 一 水
運 営 委 員 日 置 市 消 防 本 部 消 防 長 福 山 昌 己
運 営 委 員 沖 永 良 部 与 論 地 区 広 域 事 務 組 合 消 防 本 部 消 防 長 白 石 昭 弘
運 営 委 員 徳 之 島 地 区 消 防 組 合 消 防 本 部 消 防 長 政 木 孝 一
運 営 委 員 枕 崎 市 消 防 本 部 消 防 長 宮 原 司
運 営 委 員 南 さ つ ま 市 消 防 本 部 消 防 長 鎌 田 明 隆
参 与 鹿 児 島 県 危 機 管 理 防 災 局 消 防 保 安 課 長 坂 野 博 志
参 与 鹿 児 島 県 消 防 学 校 長 福 永 修 二

第45回 鹿児島県消防救助技術指導会 審判員名簿

番号	役職	消防本部名	階級	氏名
1	代表審判	鹿児島市消防局	消防司令長	下入佐一隆
2	代表審判付	霧島市消防局	消防司令	岩下力
3	代表審判付	鹿児島市消防局	消防司令補	内宮優介
4	代表審判補助	鹿児島市消防局	消防司令	別府伸二
5	代表審判補助	指宿南九州消防組合消防本部	消防司令補	中川龍太郎
6	代表審判補助	さつま町消防本部	消防司令補	松下明弘
7	審判員	鹿児島市消防局	消防司令	中馬貴宏
8	審判員	大隅肝属地区消防組合消防本部	消防司令補	山崎章吾
9	審判員	薩摩川内市消防局	消防士長	池頭亮太
10	審判員	いちき串木野市消防本部	消防司令補	岩下孝平
11	審判員	伊佐湧水消防組合消防本部	消防司令補	面高尚徳
12	審判員	出水市消防本部	消防司令補	福永清徳
13	審判員	大島地区消防組合消防本部	消防司令補	富修一郎
14	審判員	霧島市消防局	消防司令補	壺岐武蔵
15	審判員	指宿南九州消防組合消防本部	消防司令補	向吉康之
16	審判員	阿久根地区消防組合消防本部	消防司令補	和田龍典
17	審判員	熊毛地区消防組合消防本部	消防司令補	米澤裕介
18	審判員	垂水市消防本部	消防士長	山内航平
19	審判員	姶良市消防本部	消防司令補	松田大輔
20	審判員	大隅曾於地区消防組合消防本部	消防司令補	渡辺陽祐
21	審判員	さつま町消防本部	消防司令補	紺屋正昭
22	審判員	日置市消防本部	消防司令補	原口正樹
23	審判員	沖永良部与論地区 広域事務組合消防本部	消防士長	奥村剛
24	審判員	徳之島地区消防組合消防本部	消防士長	稲田大樹
25	審判員	枕崎市消防本部	消防士長	森田貴仁
26	審判員	南さつま市消防本部	消防司令補	彌勒真人
27	装備点検審判員	鹿児島市消防局	消防司令	藤崎勉
28	装備点検審判員	大隅肝属地区消防組合消防本部	消防司令補	中村隆幸
29	装備点検審判員	薩摩川内市消防局	消防士長	奥蘭佑太
30	装備点検審判員	伊佐湧水消防組合消防本部	消防司令補	羽祢田祐一
31	装備点検審判員	大島地区消防組合消防本部	消防司令補	嘉原博教
32	装備点検審判員	阿久根地区消防組合消防本部	消防司令補	山崎亮
33	装備点検審判員	垂水市消防本部	消防士長	高野健太郎
34	装備点検審判員	大隅曾於地区消防組合消防本部	消防士長	瀬戸口真吾
35	装備点検審判員	日置市消防本部	消防士長	片平栄剛
36	装備点検審判員	徳之島地区消防組合消防本部	消防士長	爲大樹
37	装備点検審判員	南さつま市消防本部	消防士長	安藤正人

タイムスケジュール

選手集合	9:20
開会式	9:30～9:50

順位	訓練種目	招集時間	訓練予定時間	参加数		全国大会 派遣数		九州地区 指導会 派遣数	
						1組	2人		
1	ロープブリッジ 渡 過	9:30	10:00～11:00	11人		1人			
2	障 害 突 破	1～5組	10:00～11:20	8組	40人			2組	10人
		9:20							
		6組以降							
		9:50							
3	ロープ応用 登はん	10:30	11:00～11:20	7組	14人	1組	2人		
4	ロープブリッジ 救 出	1～5組	11:30～13:00	15組	60人			3組	12人
		11:00							
		6～10組							
		11:30							
5	引揚救助	1～7組	11:30～13:20	21組	105人			2組	10人
		11:00							
		8～14組							
		11:30							
6	はしご登はん	1～15組	12:30～14:00	31人					
		12:10							
		16組以降							
		12:35							
7	ほふく救出	1～10組	13:30～15:00	1コース	105人	1組	3人		
		13:00		17組					
		11組以降		2コース					
		13:40		18組					
8	技術訓練	14:30	15:00～15:20	1組	5人				フリー枠

閉会式	15:40～16:00
-----	-------------

派遣選手選考委員会	16:00～16:30
-----------	-------------

※ 昼食・休憩時間は、設けません。（訓練は、継続して行います。）

第45回鹿児島県消防救助技術指導会
出場数一覧表

	基礎訓練		連携訓練					技術訓練	参加人員		
	ロープブリッジ渡過	はしご登はん	ほふく救出	ロープ応用登はん	ロープブリッジ救出	障害突破	引揚救助				
全国大会派遣数	1人	1人	1組	1組	九州指導会 において選考			フリー枠	実員	延人員	
九州地区指導会 鹿児島県割当数					3組	2組	2組				
出場数合計	11人	31人	35組 1コース 2コース		7組	15組	8組	21組	1組	354人	371人
鹿児島市	3	3				2	2	2		34	34
大隅肝属地区		3		3	1		1	2		28	29
薩摩川内市		3	1	2	1	1	1	1		22	28
いちき串木野市	2		1			1		1		14	14
伊佐湧水		3	2	1	3			2		27	28
出水市		3	2	1		3				22	24
大島地区			1			1		1		11	12
霧島市		1	1	1	1		2	2		29	29
指宿南九州	2	3		1	1	1			1	18	19
阿久根地区		3	1	2				2		22	22
熊毛地区			1	1				1		11	11
垂水市			1	1						6	6
姪良市			1			1	1	2		22	22
大隅曾於地区		2	1	1				2		16	18
さつま町	3	3	1					1		13	14
日置市				1		3		2		25	25
沖永良部与論地区		2	1	2						10	11
徳之島地区			1	1						5	6
枕崎市	1	1				1				6	6
南さつま市		1	1			1	1			13	13

ロープブリッジ渡過(基礎)

水平に展張した20mの渡過ロープを、往路はセーラー渡過、復路はモンキー渡過で往復し、その安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間28秒)

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	指宿南九州	消防士長	とくなが ひろかず 徳永 博一		
2	鹿児島市	消防士	きした たつき 木下 立城		
3	枕崎市	消防士	さこやましゅうへい 迫山 脩平		
4	指宿南九州	消防士	ながやま たいが 永山 大賀		
5	いちき串木野市	消防士	こごこ たかゆき 小迫 隆敬		
6	鹿児島市	消防士	よしとみ しゅう 吉 富 就		
7	さつま町	消防士長	いぶすき しゅうじ 指宿 修二		
8	さつま町	消防士	くらつ しんご 倉津 森伍		
9	鹿児島市	消防士	なかむら たつや 中村 竜哉		
10	いちき串木野市	消防士	ゆだびら しゅう 湯田 平秀		
11	さつま町	消防副士長	こうか せいや 江夏 聖也		

障害突破(連携)

5人(補助者を含む)1組で、スタート地点からゴール地点に至る経路に設けられた5箇所の障害を、互いに協力して救助者全員が突破するまでの安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間2分37秒)

順位	本 部 名	階 級	氏 名	重複	記 録
1	南 さ つ ま 市	消 防 士 消 防 副 士 長 消 防 士 消 防 士 消 防 士 長	に し の ま さ き 西 野 正 基 う と ゆ う す け 宇 都 雄 亮 だ い ざ か こ う 大 坂 甲 羽 も り け ん す け 森 健 介 い ま む ら げ ん や 今 村 元 哉		
2	大 隅 肝 属 地 区	消 防 士 消 防 士 消 防 副 士 長 消 防 副 士 長 消 防 士 長	お お く ほ き わ む 大 久 保 究 の ぐ ち そ う た 野 口 蒼 太 ま つ や ま ゆ う ま 松 山 雄 磨 ご う は ら な お き 郷 原 尚 輝 ま つ も と ま さ し 松 元 勝 志		
3	鹿 児 島 市	消 防 副 士 長 消 防 士 消 防 士 消 防 士 消 防 士	や ま ぐ ち し ょ う 山 口 翔 ま つ し た け い と 松 下 圭 斗 ひ ら や え た つ き 平 八 重 樹 や す だ け い た 安 田 啓 太 こ む ら り ょ う た 小 村 亮 太		
4	鹿 児 島 市	消 防 副 士 長 消 防 副 士 長 消 防 士 消 防 士 消 防 士	い け だ ゆ う と 池 田 悠 人 わ か ま つ し ゅ ん 若 松 駿 お お む ら ひ ろ き 大 村 弘 樹 い わ し た こ う だ い 岩 下 倅 大 た な か そ う 田 中 聡		
5	霧 島 市	消 防 副 士 長 消 防 副 士 長 消 防 士 消 防 士 消 防 士	あい こう こう す け 愛 甲 航 佑 う え く ほ し ゅ ん す け 上 窪 駿 介 い り さ ゆ う だ い 入 佐 悠 太 な か は ま ひ と し 中 濱 仁 志 な か む ら こ う し ろ う 中 村 皇 志 朗		

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
6	薩摩川内市	消防士長 消防士 消防士 消防士 消防士長	むろ た た つ や 室 田 竜 也 こ が さ と し 古 賀 智 司 しも は し あ つ や 下 橋 篤 也 あ か ざ き た か あ き 赤 崎 卓 明 は ま だ け い す け 濱 田 佳 祐	ほふく はしご ほふく はしご ほふく	
7	始良市	消防副士長 消防士長 消防士長 消防副士長 消防士長	い し く ら け い ご 石 倉 圭 悟 か み の せ り ょ う へ い 上 ノ 瀬 亮 平 き の う え た か て る 木 上 宝 映 く す も と け い す け 楠 元 圭 亮 や ま な か ゆ う し ゅ ん 山 中 佑 駿		
8	霧島市	消防副士長 消防士 消防士 消防士 消防士	よ し む ら た く ひ ろ 吉 村 拓 洋 な り え だ し ゅ ん た 成 枝 駿 汰 い け の う え し ゅ ん や 池 之 上 峻 弥 と だ か な ひ と 戸 田 奏 史 い し だ し ゅ ま 石 田 朱 舞		

ロープ応用登はん(連携)

登はん者が塔前2メートルからスタートし、地上高15メートルの到達地点まで器具を使わずに補助者と協力して、ロープのみで登り、その安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間16秒)

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	霧島市	消防士 消防士	しんや ゆうき 新屋 雄輝 しみず りょうたろう 清水 亮太郎		
2	指宿南九州	消防士 消防士長	ぬるき こうき 塗木 光貴 かたのだ むねゆき 片野田 崇行		
3	伊佐湧水	消防副士長 消防副士長	おおやま ゆうすけ 大山 祐輔 ひご かずま 肥後 和馬		
4	大隅肝属地区	消防副士長 消防副士長	まつきよ しんや 松清 真也 そのだ だいき 園田 大起		
5	伊佐湧水	消防士長 消防士長	いわした けんた 岩下 健太 こじょう りょういち 古城 僚一		
6	薩摩川内市	消防副士長 消防士	はしぐち たいすけ 橋口 泰典 さきやま りょうた 崎山 亮太		
7	伊佐湧水	消防士長 消防士長	ふるさと すぐる 古里 俊 たきやま まお 瀧山 真央		

ロープブリッジ救出(連携)

4人(要救助者を含む)1組で、設定された渡過ロープにより対面する搭上に進入し、要救助者を救出後脱出するまでの安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間1分15秒)

順位	本 部 名	階 級	氏 名	重複	記 録
1	出 水 市	消防副士長 消防副士長 消防士長 消防副士長	やま さき まさ や 山 崎 柁 也 いぬ い けん や 乾 兼 也 たしま ひ ろ き 田嶋 広 樹 ねじ め けん や 祢 占 拳 哉	ほふく	
2	鹿 児 島 市	消防副士長 消防副士長 消 防 士 消 防 士	ふじた しよ うご 藤 田 翔 吾 つるだ ひ び き 鶴 田 響 基 たな べ れ ん 田 辺 廉 みやざと たつ や 宮 里 辰 也		
3	日 置 市	消 防 士 長 消 防 士 長 消 防 士 長 消防副士長	とくしげ な おき 徳 重 直 樹 まつやま い つま 松 山 逸 馬 あかさき けん じ 赤 崎 研 二 たまり ゆうた ろう 玉 利 優 太 郎		
4	出 水 市	消防副士長 消 防 士 消 防 士 長 消 防 士 長	ひがした か ひろ 東 孝 洗 かわまた か ずき 川 俣 一 毅 はなその きょうへい 花 園 恭 平 こじま と も や 小 島 智 也		
5	薩 摩 川 内 市	消 防 士 消防副士長 消防副士長 消 防 士	さかした ひ でと 坂 下 英 登 はらぞの た い き 原 蘭 太 樹 はすか かり ぐ 蓮 香 が 吏 駆 ふくなが ゆ う と 福 永 悠 斗	ほふく	
6	大 島 地 区	消防副士長 消防副士長 消防副士長 消 防 士	いけだ ゆ う や 池 田 優 也 いずみ な る み 泉 成 海 かわかみ よし ゆ き 川 上 嘉 之 かがわ こう た 賀 川 航 太		
7	鹿 児 島 市	消防副士長 消 防 士 消 防 士 消 防 士	はらだ し んご 原 田 真 伍 たばた し ょう 田 畑 燦 翔 はまだ こう が 濱 田 晃 雅 にしに た い 西 谷 太 我		

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
8	出水市	消防士 消防副士長 消防士 消防副士長	いでぐちなつき 井出口夏輝 かわさきしんや 川崎慎矢 はまだゆうや 濱田悠也 かわぐちあつし 川口惇司	ほふく	
9	日置市	消防士 消防副士長 消防士 消防士	こくしょうたいが 国生大雅 かさのじゅんべい 笠野潤平 ますみつとしき 益満俊輝 とやまたくや 登山卓也		
10	始良市	消防副士長 消防士長 消防士 消防士	まえだなおや 前田直也 ひがししゅんいちろう 東俊一郎 さこだゆうすけ 迫田悠佑 おおやましのすけ 大山慎之介		
11	指宿南九州	消防副士長 消防士 消防士 消防副士長	まえかわしょうた 前川翔太 よしむらひろと 吉村洗人 かわぼたあつし 川畑敦 ひがしかわじゅん 東川淳	技術	
12	南さつま市	消防士長 消防士長 消防士 消防士長	かわじけんせい 川路健誠 おおくのりょう 大倉野亮 ともこうだい 塘広大 いまきいれかずき 今給黎一材		
13	枕崎市	消防副士長 消防士 消防士 消防士	たばたこうた 田畑晃汰 しもさこけんいちろう 下迫健一郎 つちやこうた 土屋孝太 みやたとらのすけ 宮田寅之介		
14	いちき串木野市	消防士 消防士 消防士長 消防士	はらぞのしん 原菌心 おおたけのりとも 大竹法友 かわぼたこうへい 川畑康平 ひらいしとも 平石智己		
15	日置市	消防副士長 消防副士長 消防士長 消防士	まえのそのりゅうじ 前之園竜司 がたやまかずふみ 瀧山和文 よここうじのりちか 横小路格身 なかぞのこうへい 中園浩平		

引揚救助(連携)

5人(要救助者を含む)1組で2人が空気呼吸器を装着してスタート地点(搭上)より塔下に至り、検索後要救助者を「二人搬送」により救出し、他の2人と協力して搭上へ引揚げ、救助及び脱出するまでの安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間2分9秒)

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	さつま町消防本部	消防副士長 消防副士長 消防士 消防士 消防士	とみもり しょうへい 富 森 詳 平 しおみつ けいすけ 汐 満 圭 介 とし おか なぎ 利 岡 風 だい おし ゆうや 大 尾 脩 也 いずみ りょうや 泉 綾 哉	ほふく	
2	熊毛地区	消防士 消防士 消防士 消防士	ふかみ たつき 深 見 龍 稀 ひろせ ゆうと 廣 瀬 郁 登 やなぎの ゆうと 柳 野 侑 斗 ひじかた こうへい 土方 康 平 もり りゅうき 森 龍 生		
3	鹿児島市	消防士 消防士 消防副士長 消防士 消防士	ながたりゅういち 永 田 流 一 かんむら いっせい 上 村 一 誠 みやざと じょういちろう 宮 里 丈 一 郎 ひきち けんしろう 引 地 健 志 郎 よしお か しゅん 吉 岡 隼		
4	大隅曾於地区	消防士 消防士 消防士 消防士 消防士	ほりぐち しょうき 堀 口 翔 輝 えんぶく しゅうた 円 福 翔 太 おはら だい き 小 原 大 喜 うちぞの けんた 内 園 健 太 ふくどめ りお 福 留 璃 欧		
5	霧島市	消防士長 消防副士長 消防副士長 消防士 消防士	すぎや すけんた 杉 安 健 太 たなか わた 田 中 航 やまもと けい 山 本 啓 太 まわたり と も 馬 渡 智 己 よこや ましゅん 横 山 駿		

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
6	大隅肝属地区	消防副士長 消防副士長 消防士長 消防士 消防副士長	おとしげいおり 大重伊於理 とくしげゆう 徳重祐樹 はらだまこ 原田真和人 しもはまたく 下濱たみ巧 みなみたい 南大嗣		
7	日置市	消防副士長 消防副士長 消防士 消防士 消防士	かみぐちふとし 上口ただい やましただ 山下がかえ よしなが 吉永み じゅうだみ 十田望 なかむらま 中村政貴		
8	霧島市	消防副士長 消防士 消防士 消防士 消防士	いわもとほる 岩元春樹 いけひらた 池平大希 いけえごう 池江昂紀 しおいらか 塩入海斗 よねしげねお 米重音桜		
9	阿久根地区	消防副士長 消防士 消防副士長 消防士 消防士長	さがたしゅ 佐洵修 やましたけん 山下賢人 はしひろ 栢宏輝 よしざきたく 吉崎拓郎 なかのしゅい 中野修一		
10	日置市	消防士長 消防副士長 消防士 消防副士長 消防士長	みたつだしょうた 御立田翔太 かわのしんや 河野慎也 なかようぼたか 中養母嵩人 いしがみちせ 石神千聖 あたかず 阿多一基		
11	始良市	消防副士長 消防司令補 消防士長 消防士長 消防士長	ひだかとのすけ 日高虎之介 いわきりけんたろう 岩切健太郎 せがわりゅうじ 瀬川竜司 いわどひるか 岩戸大和 にしかわしん 西川真司		

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
12	鹿児島市	消防副士長 消防副士長 消防士 消防士 消防士	ますだ たけし 益田 健司 いのまた こうせい 猪俣 洗晴 たいら けんたろう 平 賢太郎 ながさと なおや 永里 直也 よしみ こうたろう 吉見 功太郎		
13	伊佐湧水	消防士長 消防士長 消防士 消防士 消防士	みなみ ようへい 南 洋平 あかつか ゆうだい 赤塚 佑大 とみなが ゆうのすけ 富永 裕之助 しもわきだ こうた 下脇 田 滉太 にし くぼ かける 西 窪 翔	はしご	
14	薩摩川内市	消防士長 消防士長 消防副士長 消防副士長 消防士	なかぞの たく 中 園 拓 まるやま だい 丸山 大貴 はまだしゅうへい 濱田 崇平 はしぐち ぎんじろう 橋口 銀次郎 かわばた こうし 川 畑 皓嗣		
15	阿久根地区	消防副士長 消防副士長 消防士 消防副士長 消防士長	ふじかわ ゆうた 藤川 裕太 おおひらりょうすけ 大平 凌佑 みやわき せいち 宮脇 聖地 きりのしゅうた 桐野 聖太 みやの はら ゆう 宮之原 雄貴		
16	いちき串木野市	消防士長 消防士 消防士 消防士長 消防士長	かわぐち けんた 川口 健太 くぼその ゆき 久保園 夢輝 ひがさやま かいと 日笠山 海渡 あんらくしゅうへい 安楽 翔平 とみさこ しゅんすけ 富迫 俊佑		
17	伊佐湧水	消防士長 消防士長 消防士長 消防士 消防士長	まつだ あきひと 松田 章仁 ほりうち ゆうた 堀内 祐太 まえは たけい 前 畑 慶 くるす たくま 久留須 拓馬 すえはら たいし 末原 大志		

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
18	大島地区	消防士長 消防士 消防副士長 消防士長 消防副士長	いと う ゆ き ひ ろ 伊 藤 之 浩 や ま く ら り よ う ま 山 倉 竜 馬 ふ く は ら な る き 福 原 成 起 い と う こ う す け 伊 藤 光 介 ひ ご し ゅ う へ い 肥 後 周 平	ほふく	
19	大隅肝属地区	消防副士長 消防副士長 消防副士長 消防士 消防副士長	そのうちともなり 園内智成 わ き め ぐ み 脇 恵 美 や ま し た し ょ う へ い 山 下 翔 平 な が よ し ひ ろ き 永 吉 大 喜 の も と こ う た ろ う 野 元 康 太 郎	ほふく	
20	始良市	消防士 消防士長 消防士長 消防士長 消防司令補	あいこうりょうすけ 愛 甲 凌 佑 な か し ま あ つ し 中 島 敦 史 こ き な お と 古 木 直 仁 お お く ぼ か つ ひ こ 大 久 保 克 彦 い など め けん ごと 稲 留 健 悟		
21	大隅曾於地区	消防士 消防士 消防士 消防士 消防副士長	は ま だ し ゅ う へ い 濱 田 修 平 む ろ や そ う た 室 屋 颯 汰 く わ は ら こ う た 桑 原 航 汰 と や ま ゆ う だ い 外 山 雄 大 よ し も と こ う せ い 吉 元 幸 成		

はしご登はん(基礎)

塔前5メートルの位置からスタートし、自己確保の結索を行った後、垂直はしごを15メートル登はんし、その安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間24秒)

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	阿久根地区	消防士	やまうち そうた 山内 颯太		
2	阿久根地区	消防副士長	かんだく にひろ 神田 訓宏		
3	大隅曾於地区	消防士	もちどめ まひろ 持留 真大	ほふく	
4	指宿南九州	消防士	たまり あやか 玉利 綾花		
5	さつま町	消防副士長	うえむら こうすけ 植村 公亮		
6	霧島市	消防副士長	とみなが ひろよし 冨永 大喜		
7	南さつま市	消防士	さかの しゅん 坂野 駿		
8	出水市	消防士	よしの しょうま 吉野 彰真		
9	鹿児島市	消防士	たかつき よしき 高附 寛己		
10	大隅肝属地区	消防士長	さかなか かずま 坂中 和真		
11	大隅曾於地区	消防士	うちなが ともひろ 内永 智大	ほふく	
12	指宿南九州	消防士長	うち かずや 内 和也		
13	出水市	消防士	どうわき しょうご 堂脇 翔吾		
14	伊佐湧水	消防士	たぶち こうせい 田渕 康成		
15	沖永良部与論地区	消防士長	みね たくみ 嶺 匠		
16	さつま町	消防副士長	わかまつ けんたろう 若松 賢太郎		
17	鹿児島市	消防士	ほり ゆうだい 堀 悠大		
18	伊佐湧水	消防士	にしくぼ かける 西窪 翔	引揚	
19	鹿児島市	消防士	あきば こたろう 秋葉 虎太郎		
20	大隅肝属地区	消防副士長	はしぐち としひこ 橋口 俊彦		

21	枕崎市	消防士	わかばやしりょうた 若林凌太		
22	指宿南九州	消防士	さおしょうた 佐尾奨太		
23	さつま町	消防士	こさかだいち 小坂大地		
24	阿久根地区	消防副士長	たけのうちゆうた 竹之内裕太		
25	伊佐湧水	消防士	もりやましゅうき 森山脩己		
26	薩摩川内市	消防士	あかざきたかあき 赤崎卓明	障突	
27	薩摩川内市	消防副士長	いわつきなな 岩月菜々		
28	出水市	消防士	やなぎだじゅんぺい 柳田純平		
29	大隅肝属地区	消防士	ひだかゆうせい 日高佑政		
30	薩摩川内市	消防士	こがさとし 古賀智司	障突	
31	沖永良部与論地区	消防副士長	やすだてっぺい 安田哲平		

ほふく救出(連携)

3人(要救助者を含む)1組で、2人がB塔後方10メートルの位置からスタートし、空気呼吸器を装着して確保ロープ及び小綱を両足首に結着した後、煙道を検索して要救助者を屋外に救出し、2人が協力して要救助者を搬送するまでの安全確実性と所要時間を評価する。

(標準所要時間1分2秒)

順位	コース	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	①	始良市	消防副士長 消防副士長 消防士	やま さき だい き 山 崎 大 輝 い な ば け い 士 稲 葉 敬 士 まつ ば せ だい ち 松 葉 瀬 大 地		
	②	大隅肝属地区	消防士長 消防副士長 消防士長	か わ た は ら こ う き 川 田 原 高 貴 か み は ぎ けん た 上 萩 健 太 な か づ る と お る 中 水 流 徹		
2	①	さつま町	消防士 消防士 消防士	こ ぞ の き よ う 小 り ぞ の た く や 森 り 卓 や い ず み り よ う 泉 綾 哉	引揚	
	②	伊佐湧水	消防士長 消防士 消防士長	な か し ま けん た ろ う 中 島 健 太 郎 み ち ぞ え ひ ろ き 道 添 え 広 樹 お お も り り よ う 大 森 凌		
3	①	徳之島地区	消防士 消防副士長 消防士	か の う ふ み ひ ろ 加 納 文 博 も と や ま こ う き 元 山 晃 吉 く わ え こ う し 加 幸 真	ほふく	
	②	霧島市	消防士 消防士 消防士	に し ま る けん た 西 丸 健 太 い わ し た の ど 岩 わ した の し も の け い ち 下 野 圭 一		
4	①	沖永良部与論地区	消防副士長 消防副士長 消防士	す え か わ ゆ う す け 末 川 雄 介 く ほ り よ う が 久 保 遼 河 あ か や ま と も き 赤 山 諄 騎	ほふく	
	②	大隅曾於地区	消防副士長 消防士 消防士	な か や ま こ う き 中 山 公 貴 み や ざ き た か や 宮 崎 が と も ひ うち な が と も 智 大	はしご	

順位	コース	本部名	階級	氏名	重複	記録
5	①	霧島市	消防副士長 消防士 消防士	くぼた こうた ろう 久保田光太郎 もりや りょうじ 守屋僚二 みつ いしひか 満石耀		
	②	垂水市	消防副士長 消防副士長 消防副士長	かわぞえしやうへい 川添翔平 かわぼた りょう 川畑亮 りゅうぎきゆうい 龍崎唯		
6	①	出水市	消防副士長 消防副士長 消防副士長	たにむらせいや 谷村誠也 みやた たかあき 宮田高明 ねじ めけんや 祢占拳哉	ブリ救	
	②	指宿南九州	消防士 消防士 消防士	わたせこうだい 渡瀬功大 いまむらり 今村理人 たけそいういちろう 嶽宗一郎		
7	①	大島地区	消防士長 消防副士長 消防副士長	よしながけん 義永健人 おか のこうすけ 岡野航介 ひごしゅうへい 肥後周平	引揚	
	②	熊毛地区	消防副士長 消防士長 消防士	はやしこうしろう 林孝司郎 ひらやまじゅんや 平山淳也 ひだかしょう 日高将		
8	①	垂水市	消防副士長 消防副士長 消防士	しんふくたくや 新福拓也 かわむらせい 川村誠哉 みやたこう 宮田光弥		
	②	大隅肝属地区	消防副士長 消防士 消防副士長	あぜちこうき 畦地光樹 にしごこあすか 西迫明澄夏 のもとこうたろう 野元康太郎	引揚	
9	①	伊佐湧水	消防士長 消防士長 消防副士長	なかの かずま 中野一真 こずるしやう 小水流匠悟 みやたふみや 宮田章也		
	②	阿久根地区	消防士 消防副士長 消防士長	うらた るい 浦田瑠偉 いでしやう 井手翔太 ながた やす 永田康夫		

順位	コース	本部名	階級	氏名	重複	記録
10	①	薩摩川内市	消防士長 消防士長 消防士長	はまだけいすけ 濱田佳祐 しもむらけいすけ 下村圭祐 むろたつや 室田竜也	障突 障突	
	②	日置市	消防士 消防副士長 消防士長	しょうぶだによしあき 菖蒲谷吉亮 かわのゆうた 川野雄太 のせゆうさく 能勢勇作		
11	①	阿久根地区	消防士 消防士 消防副士長	ひがしのつばさ 東野翼 にしひらこうしろう 西平幸四郎 まつながまさひろ 松永大豊		
	②	出水市	消防士 消防士 消防副士長	やまだせいや 山田聖也 みやのけんいち 宮野兼一 かわぐちあつし 川口惇司	ブリ救	
12	①	いちき串木野市	消防士 消防副士長 消防士	かわくぼけんとう 川窪劍世 ちやじょうたくや 知屋城拓哉 ありむらかいと 有村快斗		
	②	沖永良部与論地区	消防副士長 消防副士長 消防副士長	みなみたくと 南拓登 やましたひかる 山下輝 いしみねみつほ 石峯三穂		
13	①	伊佐湧水	消防士長 消防士長 消防士	しみずゆうき 清水優樹 みつそのまさあき 満園雅昭 かりやじゆうら 假屋寿頼		
	②	薩摩川内市	消防副士長 消防士長 消防士	かじはらなおや 梶原直哉 たしろそうま 田代壮真 しもはしあつや 下橋篤也	障突	
14	①	出水市	消防士長 消防士長 消防士長	おだはらりょうすけ 小田原良介 まえだかずや 前田和也 やまだひろみ 山田浩史		
	②	阿久根地区	消防士 消防副士長 消防副士長	まえだこうしろう 前田昂志郎 おおのともあき 大野智明 はねたこういちろう 羽田浩一		

順位	コース	本部名	階級	氏名	重複	記録
15	①	大隅曾於地区	消防士 消防副士長 消防士	かじがやまいくみ 梶ヶ山郁海 ひらたりゅうい 平田竜生 もちどめまひろ 持留真大	はしご	
	②	薩摩川内市	消防士長 消防士長 消防士	やまだしまなおや 山田島尚也 つるながじゅんのすけ 鶴永淳之介 さかしたひでと 坂下英登	ブリ救	
16	①	熊毛地区	消防副士長 消防副士長 消防副士長	まなべじゅんや 真辺寿也 ひごかいと 肥後海斗 ひだかとも 日高智貴		
	②	大隅肝属地区	消防副士長 消防士長 消防士	ひごたかゆき 肥後隆幸 くらけいし 倉佳士 うらむらゆうき 浦村有輝		
17	①	南さつま市	消防副士長 消防副士長 消防士	さめしまゆうき 鮫島が勇樹 きよながすかず 清永紗圭 たなかさと 田中聡		
	②	沖永良部与論地区	消防副士長 消防士長 消防士	かのうみきと 和実希人 まつおかのり 松岡とも あかやまとも 赤山諄騎	ほふく	
18	②	徳之島地区	消防士長 消防士長 消防士	ふとりかつし 太り勝志 ひらせすぐ 平瀬瀨すぐ くわえこうし 加幸真	ほふく	

技 術 訓 練

現所有の資機材を駆使した救助技術の更なる向上と新しい資機材の導入や活用等を目的とし、県内から一同に会する消防救助隊員の発表及び学びの場とするとともに、相互における情報交換を行うために実施するものである。

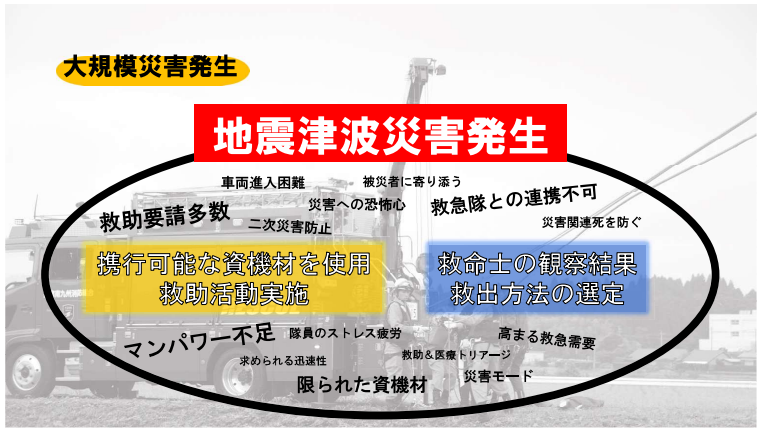
(所要時間15分)

順位	本部名	階級	氏名	重複	記録
1	指 宿 南 九 州	消 防 士 長 消 防 士 長 消 防 士 長 消 防 副 士 長 消 防 副 士 長	ま え と こ ゆ う た 前 床 勇 太 う め ば し と も ひ 梅 橋 知 弘 む ろ や ま さ し 室 屋 将 史 ひ が し か わ じ ゆ ん 東 川 淳 よ し ざ き あ つ し 吉 崎 功 志	ブリ救	



かぎ付きはしごを使用した 高所からの応急救出

指宿南九州消防組合
南九州消防署救助隊



大規模災害発生

地震津波災害発生

車両進入困難 被災者に寄り添う
救助要請多数 災害への恐怖心 救助隊との連携不可
二次災害防止 災害関連死を防ぐ
救命士の観察結果 救出方法の選定
携行可能な資機材を使用 救助活動実施
マンパワー不足 隊員のストレス疲労 高まる救急需要
求められる迅速性 救助と医療トリアージ
限られた資機材 災害モード

訓練のポイント

- ① 長時間**携行可能**な資機材のみで救助活動を実施
- ② 救助隊1隊で**救急救助活動**を並行して行う

2点を訓練のポイントとする

状況設定



- ✓四国沖で大地震が発生
- ✓九州・四国地方の太平洋側沿岸に津波が襲来
- ✓緊援隊第2次派遣隊として宮崎県で活動中

訓練想定

〇〇市△△地区 一般住宅2/0



徒歩にて検索活動中

2階居室で60歳男性が左半身の麻痺によりで動けないとのこと
で、同居する妻から呼び止められて事案を覚知する。

現場状況



- ✓2階へは住宅の屋内階段から進入可能
- ✓瓦礫により搬送のための**屋内階段の使用は不可**
- ✓2階の救出可能な**開口部直下**に移動できない**障害物あり**

要救助者情報

要救助者①

概要 65歳男性 15分前から呂律が回らなくなった
既往歴 糖尿病、高血圧症で近くの医院にかかりつけ
症状 左半身麻痺 構音障害

要救助者②

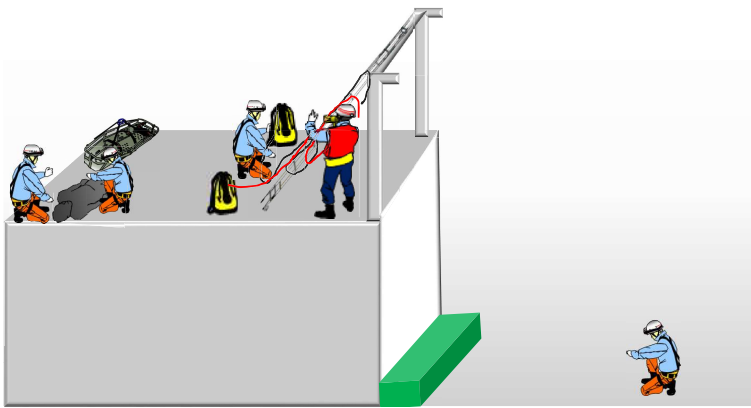
概要 60歳女性 男性と同居する妻
その他 自力歩行可能

活動Ⅰ（要救助者接触）

- ① 隊長、救命士を含む4名は屋内階段を使用して要救に接触
↓
- ② 内部状況の確認、救命士による初期観察を実施
↓
- ③ 隊長は②の結果に基づき、救出方法を選定し地上残留隊員（⑥番員）に資機材の準備を指示する

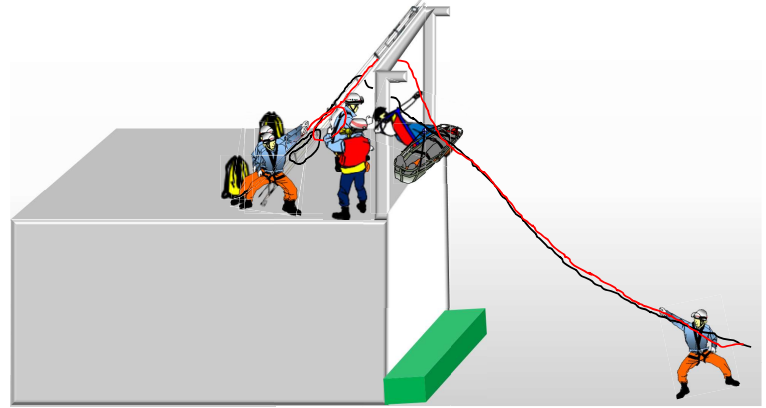
活動Ⅱ（システム構築）

- ① ②番員は、③番員と協力して、地上からかぎ付きはしごを引き上げる。
- ② 救命士と①番員は、要救の詳細観察及び救命処置を実施する。
- ③ ②番員は、かぎ付きはしごを屋内に設定すると同時に、①番員と救命士で要救を担架に收容する。



活動Ⅲ（救出活動）

- ① 救命士は、①番員と協力して救出予定の開口部付近まで要救を搬送する。
- ② ①・②番員のロープ操作により男性、女性の順に救出を開始する。
- ③ ③番員は、救出ロープの余長を操作し、要救を地上まで誘導する。
- ④ 地上に要救助者が到着した時点で訓練終了とする。



使用資機材

- ◆ ザイル 50m×2
- ◆ かぎ付きはしご×1
- ◆ カラビナ×7
- ◆ 担架×1
- ◆ エバックハーネス×1
- ◆ 救急初期観察用資器材



救出システム説明



救出ロープ操作状況（屋内）

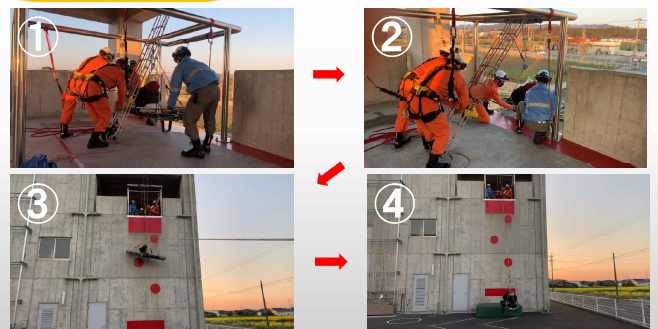
2名の隊員でメイン、バックアップのロープを操作する。

救出時は、はしごの転倒を防ぐため、基底部分を足で固定する。

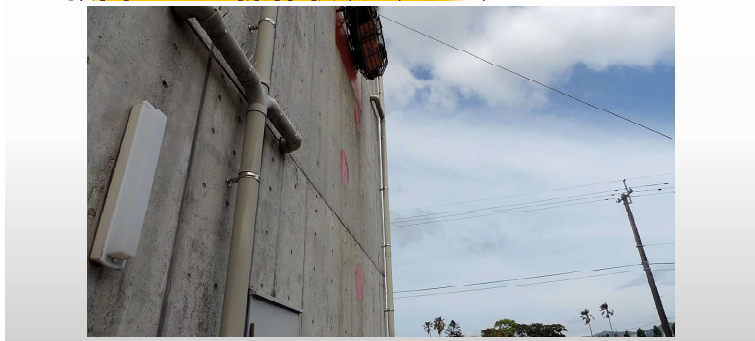
ロープは制動をかけながら、右図の様な姿勢で操作する。



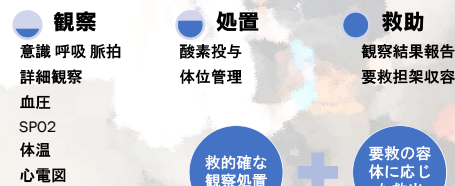
救出時の状況



救出口ロープ操作状況（地上）



救急救命士の活動



検証（かぎ付きはしご）

かぎ付きはしごの横さん1か所耐荷重→ **130kg**

実際に運用している荷重は→

荷重オーバーか？

70kg+70kg=140kg

検証（かぎ付きはしご）

合力

✓ 実際に要救助者を下ろす場合は70kg-αとなる

✓ 下ろしの途中で停止を繰り返すと衝撃荷重を生み出す

✓ ロープの向き次第で-αとなる

検証（本システム運用荷重測定結果）



検証結果まとめ

【70kgの成人男性をチタン製担架にて降ろした場合】

- ① かぎ付きはしごの横さんにかかる**最大荷重は115キロ**だった。
- ② 横さんを中心に、救助者側のロープと地上側のロープの開き角度は75度～80度で、合力の計算表のとおり、**重量の1.6倍～1.7倍**という結果となった。

考察

- ・ 今回、かぎ付きはしごを活用した高所救出を検証した。平時の救急応援活動でも、活用が見込めるシステムのため、今後さらに検証を深めたい。
- ・ 当消防本部は、4救助小隊全てに救命士を配置している。各救助小隊に救命士が編成されていれば、大規模災害で応援隊及び救急隊の支援がない場合でも、救助隊1隊で救助及び救急活動を自己完結することが可能になるのではないか。また、救命士の観察結果に基づいた救出方法の選定が、要救助者の予後改善に寄与することが期待される。

終

MEMO

第51回九州地区消防救助技術指導会【於：宮崎県】

1 開催日

令和5年7月21日（金） 9時00分から15時00分まで

2 開催場所

(1) 訓練会場

宮崎県宮崎市吉村町嶋田甲744番地1
「宮崎市消防局 北消防署 東分署」

(2) 隊員待機会場

宮崎県宮崎市新別府町江口862番地1
イオンモール宮崎 北側駐車場

第51回全国消防救助技術大会【於：北海道】

1 開催日

令和5年8月25日（金） 9時00分から16時30分まで

2 開催場所

(1) 陸上会場

札幌市西区八軒10条西13丁目3番1号
「札幌市消防学校」

(2) 水上会場

札幌市豊平区平岸5条14丁目1番1号
「札幌市平岸プール」

訓練結果の開示について

訓練結果については、下記の時間に鹿児島市消防局ホームページにて行います。

【ホームページ掲載予定時刻表】

	訓練種目	掲載予定時刻
1	ロープブリッジ渡過	12時00分
2	障害突破	
3	ロープ応用登はん	
4	ロープブリッジ救出	13時30分
5	引揚救助	14時00分
6	はしご登はん	14時30分
7	ほふく救出	16時00分
8	派遣選手選考会結果	18時00分

※ 訓練の進行状況によっては、掲載が予定時刻より遅くなる場合がございます。予めご了承ください。

【ホームページ QR コード】

鹿児島市消防局ホームページ
「第45回鹿児島県消防救助技術指導会」



第45回県消防救助技術指導会 会場案内図

